

モバイルバーコードの国際標準化

-モバイルオペレーターと流通企業の国際協調-

2010年4月19日

GSMA Mobile Code Pilot
(ソフトバンクモバイル株式会社)



提案の背景 -日本の消費者はモバイルバーコード経験が豊富-

(例1) QRコード(2次元)を読んで商品情報を照会する



消費者は、日常生活でごく普通に携帯電話のカメラでバーコードを利用

・携帯電話保有者の60%以上が利用経験あり



(例2) パソコン画面からJANコード(1次元)をネットショッピングをする



(例3) QRコードからモバイルクーポンを利用して店頭で商品に交換する



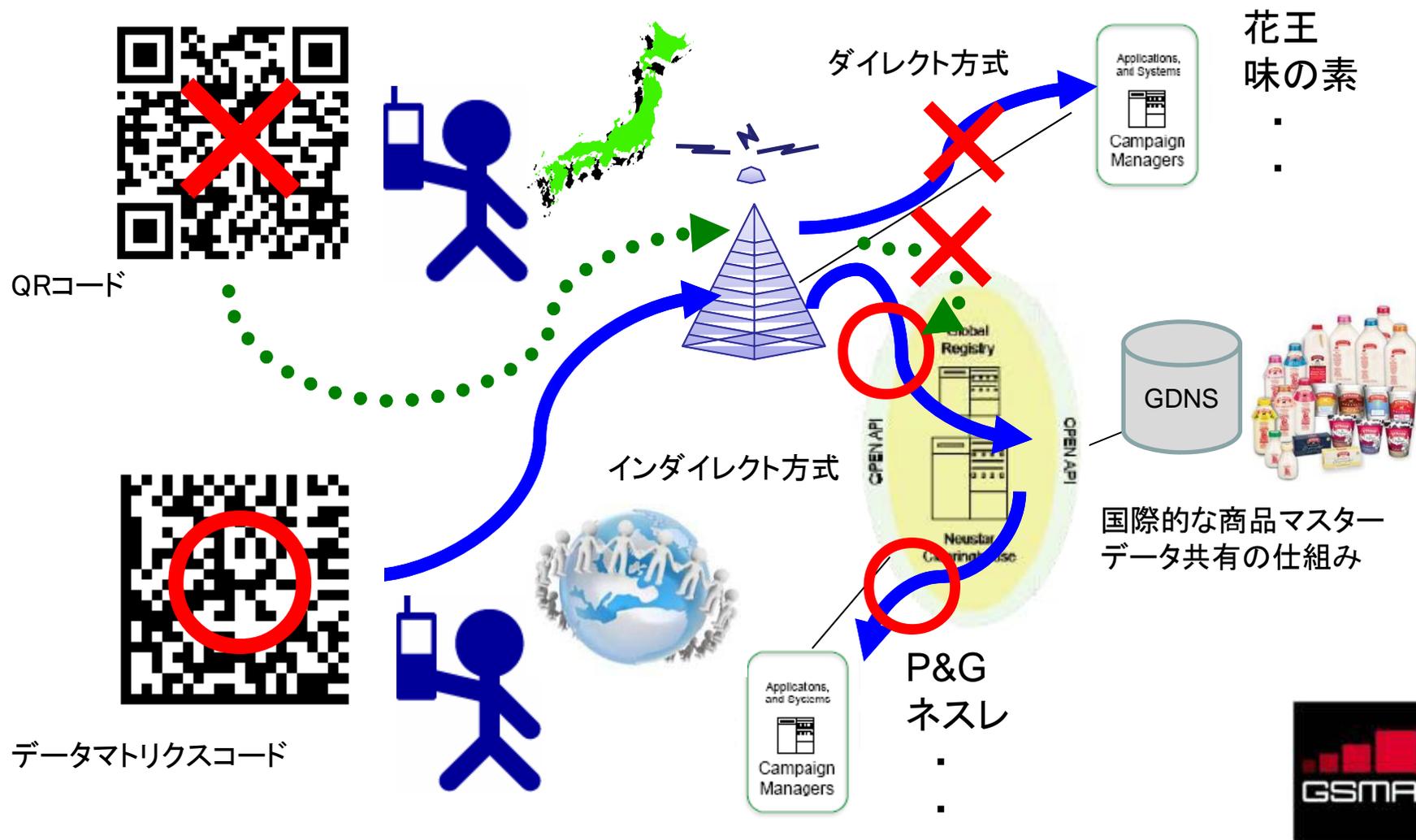
提案の背景 (2) - 海外でもモバイルバーコード利用の兆し-

3Gネットワークの普及と携帯電話の進化でバーコード利用が海外でも急速に広がり始めた



提案の背景 (3) –標準化は国際協調なくして実現しないもの–

もし QRコード (2次元) を読み直接、個別のメーカーや商品情報を照会する現在の方法が世界で非標準になったら



GSMAの国際協調活動



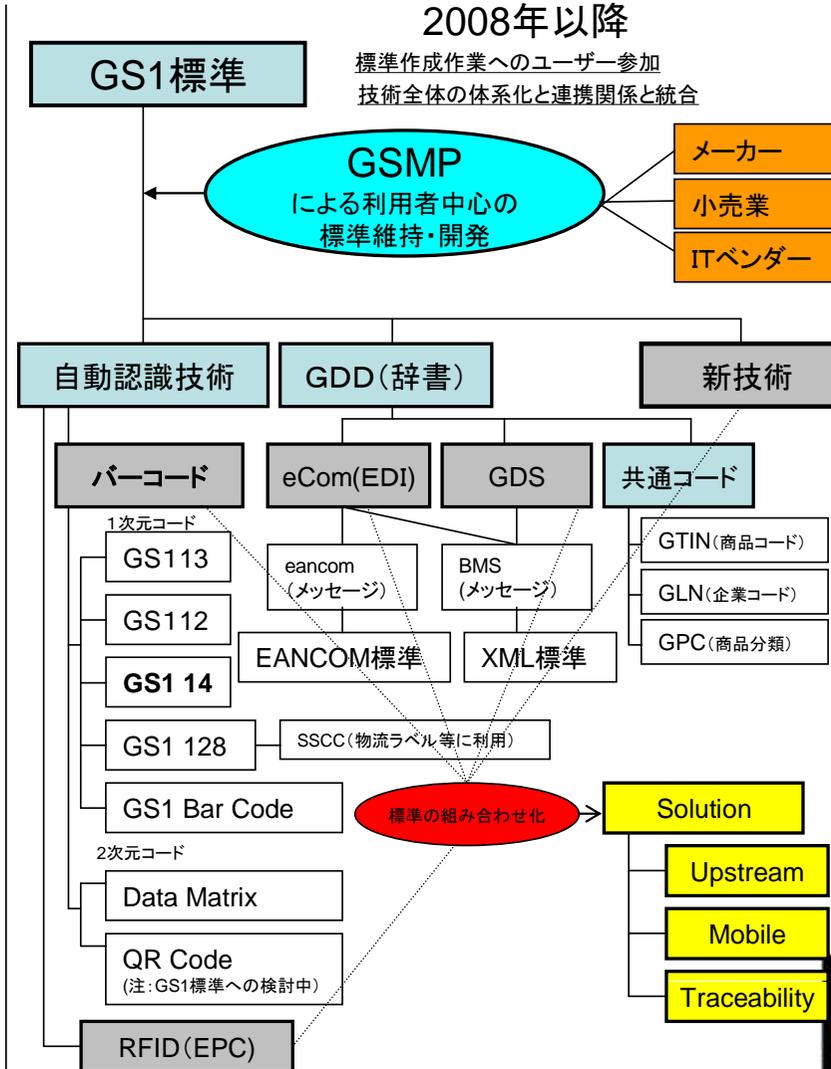
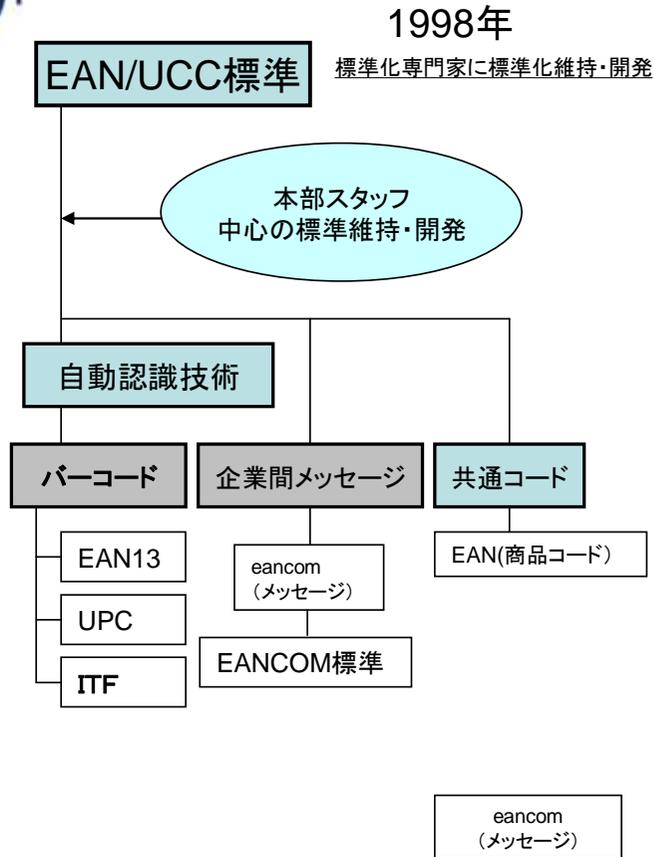
GSMAは世界中のモバイル通信業界を代表する団体です。GSMAは219カ国にわたり、モバイル事業約800社、そして携帯電話機メーカー、ソフトウェア企業、機器プロバイダー、インターネット企業、メディアおよびエンターテインメント団体など、広範囲なモバイル・エコシステムを構成する200社以上を結集しています。GSMAは会員のための技術革新、起業支援、新たなビジネス機会創出に注力することで、モバイル通信業界の成長を後押しします。また、他業界との積極的な協業を推進してクロスインダストリーでの標準化づくりに参画します。

- GS1 (流通コード標準化)
- MMA (広告モデル標準化) など

詳細情報はGSMAのウェブサイト
www.gsmworld.com



GS1 (流通コード標準化組織) の国際協調活動



GS1 Mobile Com - 参画企業とGSMAとの提携関係 -



GS1 Mobile Com参加企業と参加国 (オープン方式)



Australia	France	Poland
Austria	Germany	Russia
Belgium & Lux.	Hong Kong	Singapore
Canada	Hungary	Spain
Chile	India	Sweden
China	Italy	Switzerland
Colombia	Korea	Taiwan
Costa Rica	Latvia	Tunisia
Croatia	Malaysia	UK
Czech Republic	Mexico	US
Egypt	Netherlands	Japan
Finland	Panama	

GS1 Mobile Com
ステアリングコミッティ



提携
(MOU)

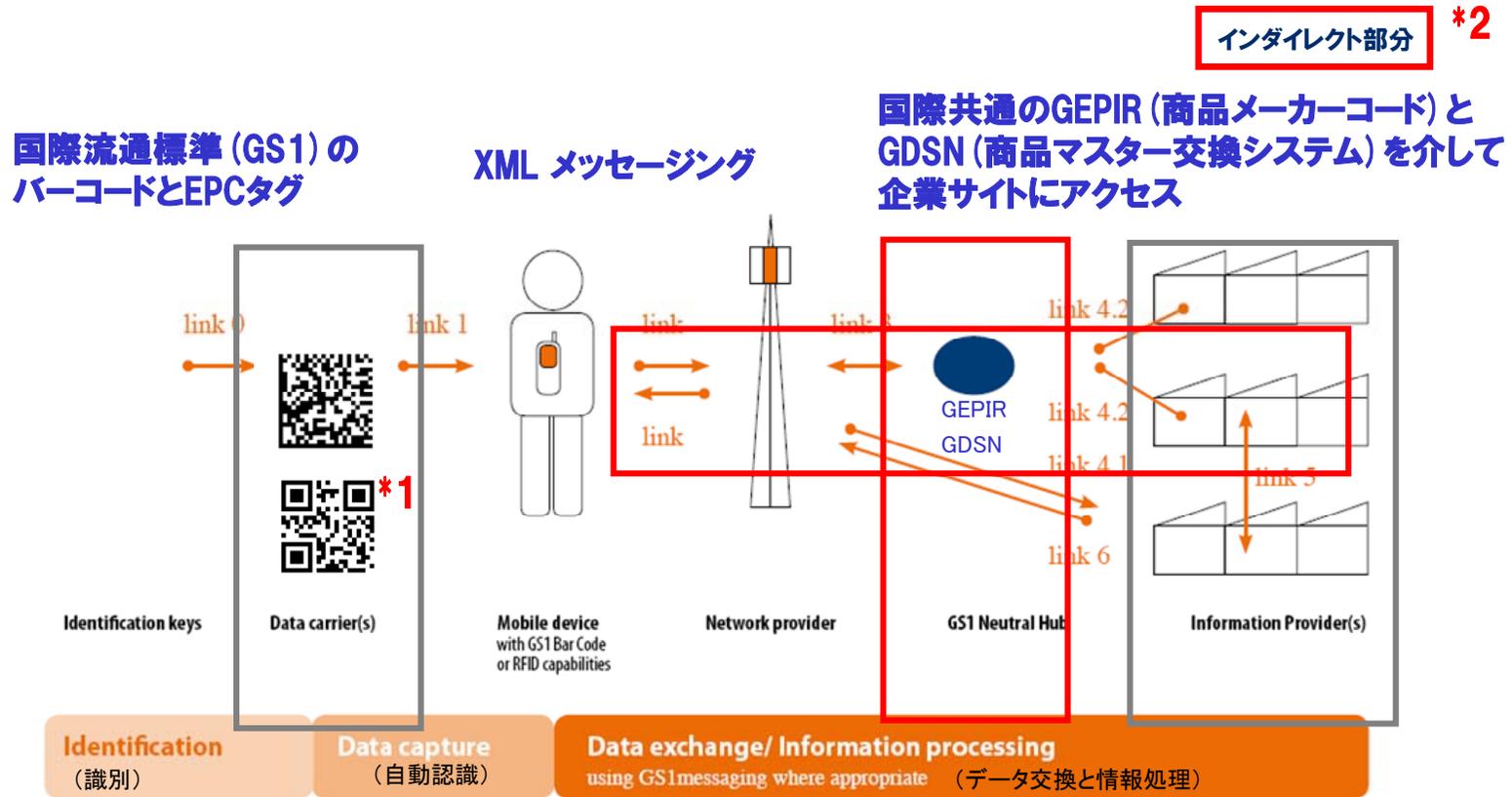


GSMA Mobile Codes Pilot
-Mobile Advertising Direct
Response Service
-ソフトバンクをリーダーに
アサイン予定(4月)



GSMAとGS1が共同検討するモバイルバーコードのシナリオ

昨年12月GSMAチームにソフトバンクが参画、日本での実証を提示



•GS1データマトリックス方式を推奨

*1 QRコードシンボルを日本で検証予定

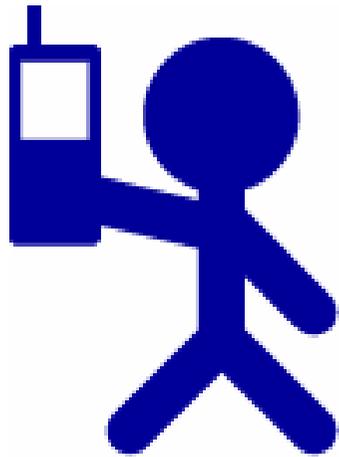
•日本は現在、直接企業システムにアクセスするダイレクト方式が主流

•ダイレクト方式は、詳細情報に瞬時にアクセスできる一方、なりすまし防止など認証に弱く、またメディアやキャリアなどとの共同プロモーションが個別開発になりグローバル展開時での柔軟性に欠ける

*2ダイレクト・インダイレクトのハイブリッド方式を日本で検証予定



プロジェクト成功のための要望事項



・必ずしも”日本発”あるいは”日本標準”にこだわらずインバウンド、アウトバウンドの双方向に国際的視点でより多くの消費者へ利便性を高めたいプロジェクトチームの主旨に対しての行政サイドからの後押し。

- ①モバイルバーコード課題への国内での意識喚起
- ②方式（QRコード、ダイレクト）の技術論ではなく日本の消費者の経験、知恵（ノウハウ）を国際的に活用した”より良い標準づくり”への協調姿勢と改善提案スタイルの支援
- ③日本での実証結果の公開、新方式の普及促進支援